

積雪寒冷地域における道路舗装の損傷に関する有識者会議

設 立 趣 旨

積雪寒冷地域においては、融雪水や凍結融解作用などにより、路面のひび割れなどの局所的な舗装損傷が融雪期を中心に多数発生しており、さらにひび割れた舗装の一部が剥離するなど、安全な道路交通を確保するうえで課題となっている。

近年の冬期における気候の傾向としては、地球温暖化の影響により、降雪日数は減少しているものの、短期間での集中的な降雪が増加しており、気温変動の拡大や融雪水量の増加が推測される。

特に、令和5年の冬は、10年に一度と言われる寒波が襲来して、12月中旬や1月下旬は顕著な低温となる一方で、1月中旬や2月上旬は顕著な高温となり、短期間で気温が大きく変動した。

今後、気候変動などの影響により、積雪寒冷地域の舗装損傷がさらに顕在化していく可能性があることから、安全な道路交通を確保するため、更なる知見が求められているところである。

このため、積雪寒冷地域において、気象条件等が舗装損傷に与える影響を解明することを目的として、当会議を設置する。